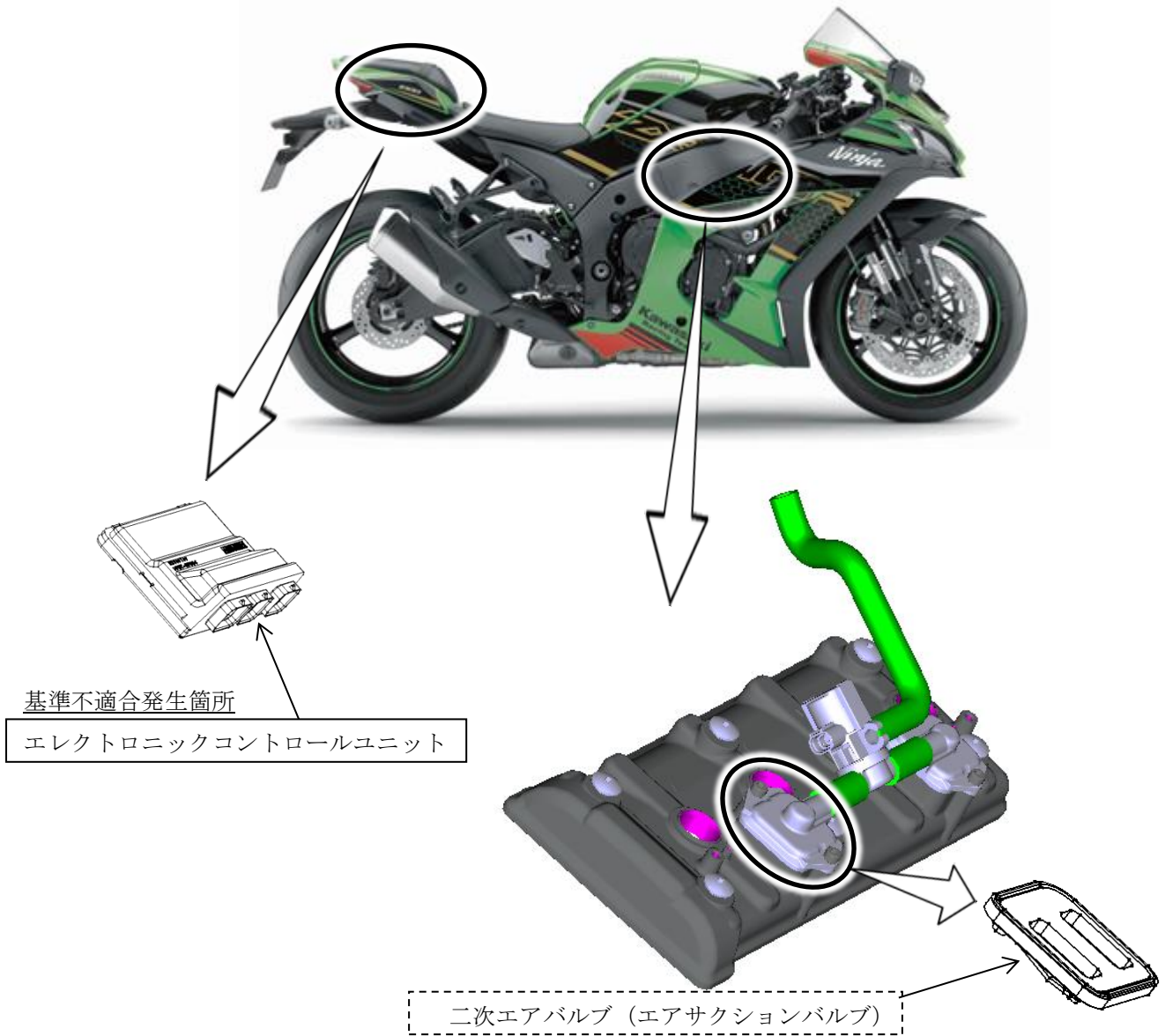


# 改善箇所説明図



エレクトロニックコントロールユニット（ECU）において、燃料噴射制御プログラムが不適切なため、エンジン高負荷領域でクイックシフターを使用しシフトアップした場合、排気通路内で大きな燃焼が発生することがある。そのため、二次エアバルブ（エアサクションバルブ）に高い圧力がかかり、当該バルブが変形、損傷して当該バルブから逆流した高温の排気ガスにより周辺部品が溶損し、最悪の場合、火災に至るおそれがある。

## 改善の内容

全車両、燃料噴射制御プログラムを対策プログラムに書き換える。また、エアサクションバルブを新品に交換するとともに、周辺部品を点検し、損傷が認められるものは新品に交換する。

注：  は、対策プログラムにリプログラムする部品を示す。

は、交換部品を示す。

識別：改善済車両には、ECUの側面に白色ペイントを塗布する。